

校長室から

できないことに挑戦

先月、あるクラスの国語の授業で、今年度がんばりたいことを1～3つぐらい考えてノートに書いてみようという場面に遭遇（そうぐう）しました。

机間を見て歩きながら、「体力テストでAをとる」「毎日ペットのお世話をする」と書いている児童がいて「なかなかいいじゃない」と思いつつ、ふとある児童のノートに目が行きました。そこには「算数をおぼえる」と書いてありました。

その児童は算数の計算で、ついやり方を間違えてしまうことがあるそうなのです。そのことが頭にあったのでしょう。

大人でも苦手なことがあります。私も「やせよう、運動をしよう」と思ってもなかなか運動ができません。つい歳や忙しさのせいにして、苦手な嫌なことから逃げようとします。

その児童は第一番に算数がんばりたいと思ったのですね。まさにやりぬく子です。人間として見習いたい向上心をもった児童だと思いました。

角山っ子の伝統・・・思いやる子

4月28日晴天の中、和気町にある県立自然保護センターの見学に行きました。初めて1～6年生が一緒に行動する行事でした。

センター内を職員の方が案内してくださっている中で、自分たちで昆虫や小鳥などの生き物を見つける時間がありました。そして、一緒に園内をまわる縦割りの3人班をつくることになりました。

するとグループづくりの時間に下学年の一人が池にかかる木の橋が気になったのか、一人で池の方に走り出し、橋の欄干（らんかん）から池をのぞきこもうとしたのです。危ないと思った私が動こうとした瞬間、同じ班の6年生と4年生の児童が「危ない」と声を出しながら、その児童を二人で抱きかかえるようにして元の座っていた場所に連れ戻してくれました。

その児童は嫌がるでもなく、バツの悪そうな顔で素直に戻ってきています。縦の学年の連携プレーです。先輩になると当たり前には後輩にかかわっていくという素晴らしい伝統が受け継がれている瞬間でした。

新めざす子ども像（今年度から）

昭和57年から継続していた4つのめざす子ども像ですが、今年度から見直しました。

思いやる子・・・自分から他者にかかわり、人の気持ちや地域を大切にする子

考える子・・・自分の考えをもち、わかりやすく伝えようとする子

つながる子・・・立場や意見の違う相手とも協力し、よりよいものにしようとする子

やりぬく子・・・失敗から学び、持ち味を活かしつつ粘り強く挑戦する子

「元気な子」を削り、下線部を変えています。時代の変化に対応し、明るい地域社会をつくっていく人間になってもらいたいという願いを込めています。